

事務事業名		日本水道協会参画事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業		
政策体系	政策名	0 4 潤いに満ちた快適な生活環境の創造		事業期間		予算科目		
	施策名	1 5 良好な生活空間の創造		区分		会計	款 項 目 事業	
	基本事業名	0 2 水道の整備と水の安定供給		単年度繰返		水道	01 01 04 0000	
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入				
所属	部課名	上下水道部水道課		【開始年度】		事務事業区分		
	課長名	後藤 浩靖		昭和7 年度～		E 一般		
	係名	庶務係	電話	0192-27-3111				
	担当者	奥山 智行	内線	207				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
日本水道協会正会員として、同協会、東北支部及び岩手県支部へ会費を抛出し、事業に参画することで、水道施設の災害に伴う相互応援計画による、迅速な応急給水及び応急復旧等の応援体制を確立する。 協会や会員から水道事業運営に有益な情報を得る。 ① 正会員会費＝均等負担額＋年間有収水量割負担額 ② 東北支部会費＝正会員会費×45%(100円未満切捨て) ③ 岩手県支部会費＝基本額＋有収水量割額 事業費は、会費のほか、同協会が主催する会議、研修会等への出席等負担金及び旅費である。						総投入量 (千円)	国庫支出金	
							都道府県支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	
						事業費計(A)	0	
						正規職員従事人数		
						延べ業務時間		
						人件費計(B)	0	
						トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動) 会費を納入し、協会が主催する会議及び研修会等へ参加した。各種研修に参加することで、施設の維持管理や水道事業経営に関する知識等を習得し、業務に活用した。業務に関して生じた疑義について、助言を受けた。	名称 単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 各種会議及び研修会等への参加。	ア 正会員、東北支部、県支部会費 千円
	イ 会議及び研修会等参加回数 回
	ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 (公社)日本水道協会、同東北支部、同岩手県支部	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	名称 単位
	カ 正会員数 団体
	キ 東北支部会員数 団体
	ク 岩手県支部会員数 団体
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 水道事業運営に有益な情報の提供を受ける。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
	名称 単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 適切な施設の維持管理、良質な水の安定供給が図られるようにする。	サ 情報交換件数 件
	シ 会議及び研修会等参加回数 回
	ス

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	163	160	951	484	1,201	1,201	
		一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	
	人件費	事業費計(A)	千円	163	160	951	484	1,201	1,201	
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	100	100	100	100	100	100	
		人件費計(B)	千円	400	400	400	400	400	400	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	563	560	1,351	884	1,601	1,601	
⑤活動指標	ア	千円	163	160	160	155	160	160		
	イ	回	0	0	0	10	10	10		
	ウ									
⑥対象指標	カ	団体	1,337	1,336	1,336	1,323	1,323	1,323		
	キ	団体	163	164	164	164	164	164		
	ク	団体	28	28	28	28	28	28		
⑦成果指標	サ	件	5	5	9	11	10	10		
	シ	回	0	0	9	11	10	10		
	ス									

事務事業ID	0315	事務事業名	日本水道協会参画事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和7年に(社)日本水道協会が設立されたことによる。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	水道事業における最新の技術水準や多様化する諸問題に対処するため、協会及び会員からの情報収集等が必要となっている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由・内容
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	迅速な応急給水及び応急復旧等の応援体制を確立することで、災害時の給水を早期に確保することに寄与する。水道に関する調査研究、情報収集等を行うとともに、その結果を水道事業の運営に反映させ安全で安定した水道水を供給することにより、快適な都市環境の維持と向上が図られる。	
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由・内容
なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	水道事業は公営企業であり、地方公共団体の水道事業者が正会員となっている。		
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由・内容
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	対象については当市で拡大又は縮小できるものではなく、また、意図については当市の水道事業の推進を図るためには適切である。	
	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由・内容
成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	必要な情報を協会や会員から提供してもらい、また、開催された会議及び研修会等は、水道事業運営に役立っており、成果は十分に現れている。		
効率性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由・内容
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	水道事業に関する現在の情勢の把握や情報収集等が困難となることから廃止はできない。	
	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容
成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	会員会費(負担金)額は、均等割分と水量割分で算出されているため削減できない。		
公平性 評価	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	業務時間の投下は最低限に抑えており、これ以上の人件費の削減余地はない。	
	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由・内容
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	最終的には水道料金に転嫁されている。		

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×	今までどおり事業を継続し、調査研究や情報収集を行い、水道事業の円滑な運営に努める。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
	低下	×	×																	
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。(現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」)(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	現状どおり継続して事業を実施する。